

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

南幌町まち・ひと・しごと創生推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

北海道空知郡南幌町

### 3 地域再生計画の区域

北海道空知郡南幌町の全域

### 4 地域再生計画の目標

本町の人口は2000年の9,792人をピークに減少しており、7,927人（2015年国勢調査結果）まで減少している。国がまとめた北海道内市町村の総人口の将来推計値等において、本町の総人口は2015年の7,927人から2045年の3,893人に減少し、増減率はマイナス50.9%となる予測がされている。

5年毎の自然増減（出生と死亡の差で計算）と社会増減（町への転入と転出の差で計算）をみると、2000年以降は自然減、社会減のいわゆる「ダブル減」の状況が定着しており、その減少幅が広がっている。また、合計特殊出生率も、減少傾向が続いており、若い人たちの減少とあわせて、出生数の減少が顕著である。

高齢化率においては2015年の29%から2045年には63%と予測され、高齢化増加率は33.6%となり、北海道市町村の高齢化スピード予測において第1位としてインターネット地域経済サイト等で公開されている。

高齢化率が急増するという本町における脆弱な人口構造は、平成初期の団地造成に伴う子育て世代を中心とした転入者により人口が急増したことが要因であり、若い世代の移住・定住を促進し、急速な高齢化を如何に抑えることができるかが持続可能なまちを目指すための大きな課題となっている。

本町は札幌市中心部まで車で約45分、新千歳空港へも同程度の時間でアクセス可能であることに加え、現在整備中の新千歳空港と石狩湾新港を結ぶ高規格道路が本町を通過するため、開通後は新千歳空港までの所要時間も25分まで短縮

される等の地理的優位性を地域課題の解決に繋げ、まち・ひと・しごと創生総合戦略の目指すビジョンとして掲げている「30年後も子ども達という風景」の実現のため地域再生を図る。

なお、取組みにあたっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げる。

- ・基本目標 1 若い世代の結婚・出産・子育てを支援する
- ・基本目標 2 南幌への新しい人の流れをつくる
- ・基本目標 3 安心して働ける雇用環境をつくる
- ・基本目標 4 時代に合った地域をつくり安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

### 【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	合計特殊出生率	1.15	1.25	基本目標 1
イ	観光客入込数	299,406人	410,000人	基本目標 2
ウ	町内在住の就業者数	4,385人	4,385人	基本目標 3
エ	社会減数	82人	60人以下	基本目標 4

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

#### ① 事業の名称

南幌町まち・ひと・しごと創生推進計画

- ア 若い世代の結婚・出産・子育てを支援する事業
- イ 南幌への新しい人の流れをつくる事業
- ウ 安心して働ける雇用環境をつくる事業
- エ 時代に合った地域をつくり安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する事業

## ② 事業の内容

### ア 若い世代の結婚・出産・子育てを支援する事業

子ども達が天候を気にせず、いつでも安心して遊べる遊び場「誘客交流拠点施設（子ども室内遊戯施設）」が整備される南幌町中央公園において、遊具等を安全に使用できるよう公園施設の改築更新を行うほか、「誘客交流拠点施設（子ども室内遊戯施設）」の開業を契機に、子ども達の居場所や地域住民の交流の場として、賑わいを創出するための公園整備を行う等、若い世代の結婚・出産・子育てを支援する事業。

#### 【具体的な事業】

- ・公園遊具等の整備
- ・食育活動の推進 等

### イ 南幌への新しい人の流れをつくる事業

2023年にオープンする北海道ボールパーク（Fビレッジ）オープンにおいて、食の魅力提供やスポーツ交流、各市町村の観光拠点を結ぶ周遊策、整備を予定している誘客交流拠点施設（子ども室内遊戯施設）の積極的活用等、近隣自治体との連携を図る。また、数年後に開通が予定されている「道央圏連絡道路」は、人の流れが大きく変わることが予想され、本町市街地に足を運んでもらうための大きな施策として、誘客交流拠点施設（子ども室内遊戯施設）と連動したエリアマネジメントを進める等、南幌への新しい人の流れをつくる事業。

#### 【具体的な事業】

- ・南幌温泉を核とした魅力ある観光地・南幌町のPRや情報発信
- ・町内案内地図の作成及び観光案内標識の整備 等

### ウ 安心して働ける雇用環境をつくる事業

近い将来における道央圏連絡道路の開通を見込み、本町の地理的利便

性を強くPRし、企業誘致を推進する。また、本町の地理的優位性や子育て環境の良さを最大限に活かし、札幌市や東名阪地域に本社を有する企業のサテライトオフィス整備等、安心して働ける雇用環境をつくる事業。

**【具体的な事業】**

- ・町内で仕事を創出する企業への支援
- ・様々な働き方を支える雇用環境の整備 等

**エ 時代に合った地域をつくり安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する事業**

公共交通による交通空白地域の解消と利用者ニーズの把握による公共交通の充実を図る。また、町内外の住み替えに対応する住宅リフォームと中古住宅・空き家市場整備等、時代にあった地域をつくり安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する事業。

**【具体的な事業】**

- ・バス等交通網の利便性向上
- ・住宅リフォーム助成 等

※なお、詳細は第2期南幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

**③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））**

4の【数値目標】に同じ。

**④ 寄附の金額の目安**

272,000千円（2020年度～2024年度累計）

**⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）**

毎年度8月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに本町WEBサイト上で公表する。

**⑥ 事業実施期間**

2020年4月1日から2025年3月31日まで

**6 計画期間**

2020年4月1日から2025年3月31日まで